

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：エクレスすみれ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：皆川 夕希子	定員（利用人数）：43 名	
所在地：〒224-0063 横浜市都筑区長坂7丁目15		
TEL：045-941-8600	ホームページ：https://exres.ed.jp/violet/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2016年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人 岩谷学園		
職員数	常勤職員：14 名 非常勤職員：17 名	
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士：26名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：給食調理室
	居室：1歳児室	設備：給食事務室
	居室：2歳児室	設備：調乳室
		設備：相談室
		設備：職員室・事務室・保健室
		設備：幼児用トイレ
		設備：みんなのトイレ
		設備：トイレ
	設備：エレベーター	
	設備：園庭	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

「自ら育つ力」を育む

## &lt;基本方針&gt;

「こころ」「ことば」「あそび」「表現」の4つのつばさを育てる

## &lt;保育目標&gt;

1. わくわく ときどき を楽しむ子
2. 心を豊かに 思い合える子
3. できる！できた！を感じる子

## ④施設・事業所の特徴的な取組

<エクレスすみれ保育園の特徴的な取り組み> (基本情報 I - 3 の記載事項)

- 自然豊かな環境の中で、戸外活動を主体的に取り入れた保育の実施
- モンテッソーリ教育を取り入れた保育環境の実現
- 定期的なリズム遊びの実施
- 体も心もたくさん触れ合える環境

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年05月17日(契約日) ~ 2023年10月04日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(2018年度)

⑥総評

【エクレスすみれ保育園の概要】

●エクレスすみれ保育園は、学校法人岩谷学園(以下、法人という)が運営する認可保育所です。法人は、学園の建学の精神(我が学園は教育をとおして「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする)に基づき、幼児教育の保育専門学校、美容専門学校、日本語学校や高等専修学校を展開し、テーマ「楽しい教育」の推進と建学の精神の実現に向けて努力しています。

法人は、都筑区の幼児教育エリアに「認定こども園エクレス幼稚園」・「認定こども園エクレス保育園」・「エクレスフィア(プレ保育)」・「エクレスすみれ保育園」を開所しています。園名の「エクレス」とは、英語「self expression=自己表現」から生まれた造語です。エクレスすみれ保育園は、平成28年4月に認可保育所として新設されました。

●エクレスすみれ保育園は、横浜市営地下鉄「センター南」から徒歩10分程で、大原みねみち公園に隣接し、港北ニュータウンの自然や閑静な住宅地に囲まれた所にあります。園の周辺は、自然の地形や雑木林を生かした公園が多く点在し、緑道でつながり、樹木や草花、野鳥、水のせせらぎ等、心和む風景が数多く残る地域です。子どもたちは四季折々の自然に触れながら、カルガモの親子、鯉や亀との出会いに目を輝かせて、日々の散歩を楽しんでいます。また、法人系列の連携園との交流を図り、3歳児以降は幼稚園へ優先入園できる体制になっています。

●エクレスすみれ保育園の定員は43名、0歳児~2歳児までの保育を実施し、現在45名の園児が在園しています。園舎は鉄骨造り2階建てのゆとりある造りです。各年齢の保育室が広々として、遊び、食事、午睡が別々にできるように環境設定を工夫しています。また、「モンテッソーリ教育」を取り入れた保育環境により、子どもたちの「自ら育つ力」をサポートし、自発的な成長を支えるように取り組んでいます。毎日が特別な体験「はじめて」に出会える保育をモットーに、多彩な日常カリキュラムを用意し、子どもたちは、楽しく、元気に、伸び伸びと一日を過ごしています。

◇特長や今後期待される点

1. 【豊かな環境を生かした保育】

エクレスすみれ保育園(以下、当園という)の特徴の1つに「緑豊かな環境」が挙げられます。当園が立地する都筑区は、港北ニュータウン開発前の雑木林を生かした美しい公園が数多くあります。中でも、当園は大原みねみち公園に隣接していて、保育室の大きな窓からも四季折々の自然を眺められ、思わず外に飛び出したくなります。多くの公園が緑道でつながっていることから、散歩コースも多種多様、年齢の差を考慮して、毎日のように散歩に出かけ、自然に触れ合い、肌で感じる実体験を通して、個々の感性

を育てています。子どもたちの発見を大切に、見たもの触れたものに共感する保育を積み重ねています。園舎内の共有スペースに「虫と自然の展覧会」と題して、子どもたちが持ち帰った木の実や葉っぱ、虫等を展示して、宝物としてみんなで鑑賞しています。調査当日には、カブトムシ、青虫等が飼育されていました。子どもたちは、散歩を通して毎日「はじめて」に出会える体験をしています。今回の保護者アンケート「季節や自然との触れ合いが保育の中に感じられますか」では、満足回答率91%と高い評価でした。子どもたちの生き生きとした体験は、法人のテーマ「楽しい教育」につながると言えます。

## 2. 【自立心を育む保育】

当園は、「モンテッソーリ教育」を導入し、「個」を大切にしながら、自立の発達を促す教育と保育を進めています。モンテッソーリ教育とは、子どもに内在する発達の自然法則に従った教育です。子どもが「成長したい!」と、1つのことに夢中になる時期を「敏感期」と表現しています。この「敏感期」を大切に育てることが、理念「『自ら育つ力』を育む」につながります。職員は「子どもとはどういった存在なのか。何を求めているのか。」・「子どもの前で大人は何をしなければならないのか。何ができるのか。」を、常に考え、学び合っています。一人ひとりの子どもに寄り添い、「やりたい」・「できる」・「できた」等の思いに応えるよう、年齢や発達に合わせた教具や提供法を実践しています。調査当日に0歳児～2歳児の子どもたちが、自分で教具を選び、指先を上手に使って集中して取り組んでいる姿を目にしました。職員は子どもの傍らに座り、静かに見守り、必要に応じて援助しています。子どもたちは感覚的な遊びを通して、言葉や数の関係等を学んでいきます。今回の保護者アンケートに「子どもの自主性を重んじている」、「子どもを大切にしている」等の声が多く寄せられ、保育への高い評価が窺えます。

## 3. 【チーム保育の実践】

法人の要請事項「施策3人材育成」に準じて、「2023年度エクレスすみれ保育園事業計画」に「愉しくチームワークの有る職場の実現」と明記されているように、常にチームワークを意識した保育を行っています。園舎内は明るく温かい雰囲気、職員も子どもも笑顔が溢れています。若い職員が多いことから、育児経験豊富な非常勤職員を多く採用し、常にクラス人数+1人以上の保育士の配置をしています。ゆったりとした人的・物的環境から、多彩な保育内容（モンテッソーリカリキュラム、戸外遊び、運動遊び、リズム遊び、表現遊び等）を実践しています。常勤職員と非常勤職員の温度差を無くすために、会議や園内研修を一緒に行い情報を共有し、互いに補い合ってモチベーションアップにつなげています。今回の保護者アンケートに「園全体で子どもの成長を見守ってくれている」・「どの職員も笑顔で対応」・「全職員で子どもを把握」等の声が多く寄せられ、その中に「子どもが保育園に行きたい～楽しい!と言う」のフレーズが目を引きました。当園の保育目標の実現に向けた「チーム保育」の成果と思われる。

## 4. 【人材育成と地域支援への取り組み】

施設長は、職員が働きやすい職場となるように、常にコミュニケーションを図りながら、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っています。具体的には連続休暇の実現（夏季休暇は平均9日）、1年分のシフト（土曜保育及び振替休）、有給休暇取得の促進、ノンコンタクトタイムとして事務時間の設定、会議日程の見える化です。また、若い職員が多いことからOJT体制を敷いています。保育内容の向上には、人的要因が必要不可欠であることから、今後も人材の確保と育成に向けた取り組みに期待します。地域支援事業については、新型コロナウイルス感染拡大（以下、コロナ禍

という)の影響から、以前まで実施していた事業が滞っています。アフターコロナになり、計画的に事業を再開していくとのことで、積極的な取り組みに期待します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 エクレスすみれ保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

この度、自園での評価を行うにあたり「評価」を頂くといった点での職員の戸惑い等がありましたが、丁寧なご説明を頂き、調査当日にも温かい眼差しで「保育」を見学いただけたことに感謝しております。

どちらの園も同じですが、コロナ禍でここ数年は行事の見直し、密にならないことを中心とした保育の実施等、不安と新しい調整への模索が続いていました。昨年度から徐々に「日常」を取り戻しつつある中、子どもを中心とした「楽しい保育」への見直しを職員と共に行っている中での第三者評価の実施となりました。急な取り組みもあり、「保護者にご理解を頂けているのだろうか」「これで良いのかな」等の不安もありましたが、アンケートを通して温かい言葉を沢山拝見いたしました。職員にも開示を行い、良い点、改善点含め、改めて向かい合うべき姿が見えてきたように感じます。

職員アンケートでは、保育園、保育士として求められる資質や保育の振り返りができました。新人職員、中堅、リーダー各々がそれぞれの役割を持ち、環境設定、保護者支援、子育て支援等に取り組む姿勢の向上や共通認識を行うことができる良い機会でした。第三者評価を通して、様々な方向から沢山の振り返りができたことは園の財産につながると思います。ありがとうございました。

《評価後取り組んだ事として》

1. 年間指導計画の反省、見直しを都度行うこと
2. 進級説明会全体実施の再開（数年間、コロナ禍により個別で実施したため）
3. 保育士が常に人に地域に見られている存在であることへの意識  
挨拶や笑顔に+α名前を呼ぶ、駅を降りた瞬間から職場と考えて常に関係者が側にいることを意識する、等の意見が出ました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり